

[TOP page](#)
[資料室](#)
[イベント情報](#)
[講師を探す](#)
[Worker's 広場](#)
[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [賀川豊彦 \(14\)](#)
[労働組合](#)
[労働者福祉・共済](#)
[一般教養](#)
[社会保障](#)
[労使トラブル法律相談Q&A](#)
[労働関係法](#)
[経営全般](#)
[人間関係とコミュニケーション](#)
[ライフプラン](#)
[男女共同参画](#)
[公務員関係法](#)
[日朝の歴史](#)
[7つの習慣](#)
[中東の歴史](#)
[ボランティア活動](#)
[環境活動](#)
[社会貢献活動](#)
[自己啓発](#)
[生涯学習](#)
[外交・防衛問題](#)
[資本論](#)
[教育カリキュラム](#)
[日本国憲法](#)

賀川豊彦 (14)

西欧における賀川の名声は新たな高みに達します。

1935年12月、彼は3回目の世界講演旅行を計画します。

引っ張りだこの賀川講演は、5年先まで予約で埋められるほどでした。

しかし一方で反対運動をする者たちも多くなりました。

入港したサンフランシスコでは、途方もない賛賞と非難を迎えられますが、賀川は重い眼病にかかっていたため、感染防止を理由に拘留センターに保護されてしまいます。

彼を待ちわびていた支援者たちは政府に働きかけて、とうとうルーズベルト大統領自身までも動かして、条件付きで賀川の7ヶ月滞在を許可します。

賀川は全米各地で協同組合経済による非暴力革命のメッセージを訴え続けました。

経済が戦争の根本原因であると主張し、世界貿易安定のために単一通貨体制に基づく国際的協同組合銀行構想を論じました。

成功を取めた米国伝道旅行を終えて、彼は1936年7月、ヨーロッパに向けて出発します。

秋には帰国しますが、日本では軍国主義が拡大し、警察国家が統制を厳しくし、どんどんと恐ろしい時代へ突入していきました。

翌1937年7月7日に起こった「盧溝橋事件」は、国家全体を右へと急激に傾かせ、戦争へと拍車をかけていきます。

賀川が設立するのに大苦勞してきた労働組合や農民組合、また平和の福音を説教してきたキリスト教会の多くも、軍部の方策に逆らえず同調していきます。

自己防衛のためでもあり、ひたすらな愛国心と、国中の異常な心理状態の結果でもありました。

平和主義者で反抗者でもある賀川ですら体制に順応しようとしていました。

それは体制が彼に自由を認めなくなっていたためでもあります。

それでも賀川は欧米の反日感情を和らげたいと願っていましたから、政府は平和主義者として知られている彼を慈善大使として活用しました。

1938年にはインドで開催された世界宣教会に講師として招かれ、翌年にはガンジーとの対談も実現します。しかし、そうした努力もむなしく終わります。

教会は国の宗教管理部門の支配下に置かれ、日本労働同盟も解散し政府が公的に支援する組合に合併させられます。

賀川自身は教会での非暴力の説教を咎められ逮捕されてしまいます。

1941年3月、戦争を避ける最後の試みとして、賀川は日本基督教聯盟の訪米平和使節団としてアメリカに渡ります。

米国を旅行している間、彼は300回以上も講演をして回りましたが、戦雲が近づいてきたため8月帰国の途につきます。

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE 【ワーカーズ・ライブラリー】

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.